

団体名：近所のおじちゃん・おばちゃんクラブ

活動地域：杉並区

助成額：92,212 円、助成回数：3 回

Twitter：<https://twitter.com/terakoyashokudo>

【当初の目的に対しての結果】

定期的に子ども食堂を開催し、子ども達が食を通し楽しみを共有し「学校でもない、家でもない居場所作り」目指す活動をしていました。しかし、昨年と状況は変わらず、コロナウィルス感染状況の中で、2021 年度も月 2 回の食堂開催日には、主にお弁当配布、フードパントリーを行う活動を継続しました。お弁当配布はツイッターで告知、毎回 20～30 世帯からの申し込みがあります。告知の際、またはお弁当お渡しする時に要望や家庭の状況などのアンケートの結果、食堂再開を望む声とともに、このような状況下食堂での食事よりもお弁当を希望する声が多くありました。2021 年度においても、感染対策を実施しながらできる範囲で食堂を開催することを目指しましたが、コロナウィルス感染状況は好転せず、食堂で集まって食事することが難しく、お弁当配布が中心の活動となりました。また各方面からパントリー用に多くの食品提供があり、東都生協からも野菜などの生鮮食品のご提供をいただき、各家庭に配布し支援することができました。

【主催者の感想】

- ・本来の子ども食堂開催という活動がなかなか難しく、早くコロナウィルス感染状況が良くなってほしい。
- ・お弁当数が毎回増えてきており、80食を超える場合もあるが、感染を防ぐため、限られた時間、場所、人数で調理するため、工夫が必要である。
- ・冷凍食品は温めるだけで調理できるので、大変助かっている。
- ・お弁当、パントリーをととても喜んでいただいている。

【支援を受けられた方の声】

- ・食堂に家族揃って行くことは難しいのでお弁当が嬉しいです。パントリーたくさんでとても嬉しいです。

- ・もし可能であれば、お米をいただくと嬉しいです。
- ・お弁当配布は嬉しいです。クリスマスメニューなど楽しみにしています。
- ・お弁当にパントリー、とても助かっています。ハンバーグおいしかったです。
- ・忙しい身としては寺子屋食堂の活動に助けられています。

【その他、意見・要望など】

コロナ禍の現状は子ども食堂としての機能より、親支援ということで、ひとりで家で待つ子どもなどの子どもたちにも食べやすいものをパントリーに入れたいと思っています。食堂の食材と同時に、食材配布としても使えるおかずなどもそのまま配ることができる仕組みも期待したいと思います。

